



# 伴走支援を考える

～教育現場における  
実務研修報告～

# 概要

研修期間：令和8年1月26日(月)～2月6日(金)の2週間

研修先：京都市教育委員会

(京都市総合教育センター 研修課)

# スケジュール

	1/26(月)	1/27(火)	1/28(水)	1/29(木)	1/30(金)
午前	挨拶・センター内案内	センター事業紹介(指導室)	 こども相談センターパトナ	 開建高校	 堀川高校
	初等主事勉強会	初等主事会	 洛風中学校		
午後	センター事業紹介(教員養成室)	シニアマイスター・マイスター研修	総・キャリアアップ研修会	 桃陵中学校研究発表会	 青少年科学センター
	中・総合主任研修	高・採用前研修会	中・採用前研修会		

	2/2(月)	2/3(火)	2/4(水)	2/5(木)	2/6(金)
午前	中等学習会	 学校歴史博物館	 小学生のための音楽鑑賞教室	 生き方探究館	挨拶
					中等主事会
午後	 中央図書館	 広沢小学校研究発表会	中・採用1年目研修会	 教育長挨拶会	 下京雅小学校・楊梅幼稚園
	 京都アスニー		小・採用前研修会	 洛友中学校	

# 目的

自治体における教育施策を学ぶ

# 今回いちばん印象に残ったこと

- ・先生になろうとする人々
- ・先生になって間もない人々
- ・それを支えるセンター主事の方々

→ **先生やそこに関わる人々の姿**

# 場面①：採用前研修

- ・ 採用予定者による模擬授業・対話
- ・ 主事が教員としての視点を助言  
(なぜ学ぶか／学びの先／可能性)
- ・ 不安の中でも教員像を考え始める姿

→ **採用前から始まる教員としての第一歩**

## 場面②：採用1年目研修

- ・ 1年目教員による振り返りと対話
- ・ 強み共有と教員像の言語化
- ・ 試行錯誤しながら成長する姿

→ **現場で始まる教員の成長**

## 場面③：研究発表会

- ・ 若手教員の研究授業を見学
- ・ 試行錯誤しながら授業改善
- ・ ねぎらいの言葉に涙する姿が印象的

→ **支える関係性の重要性を実感**

# 三つの場面を通して

①採用前研修

②採用1年目研修

③研究発表会

→ **すべて伴走支援**

# NITSについて考えたこと

- ・ 現場とセンターによる手厚い伴走支援  
→ NITSは不要では？と感じた
- ・ 自治体が自走できることが理想
- ・ ただし状況は自治体ごとに異なる  
→ NITSの伴走は相手に応じて変わる必要

**必要なものを  
必要なところに  
必要なタイミングで届ける**